

# コンクリート診断士試験 合格体験記

戸田 敦子 様 (仮名) (京都府) 公務員 平成28年度合格

講習会ではお世話になりました。

診断士、無事に合格できました。

記述試験ではトンネルまで手が回らず、試験会場への道中で講習会のレジュメを見直して最後にトンネルの項目を復習しましたが、それが功を奏し無事B-2論文を書ききることができました。あの講習会がなければ絶対に落ちていました。本当に講習会のおかげです。計算問題も気持ちのハードルが下がりましたし、電気防食の正負極はただ一つだけ覚えておけばいいとか、試験勉強としての負担が減ったことで気が楽になりました。当日の会場はみなさん完全に手がとまっていたとのことで、帰宅途中もお葬式のような感じでした。私も、あのレジュメの1ページにすべてを託して、あることないこと？書ききりました。受かっている自信がまったくなく、ほぼ無視していた状態だったので、昨日合格通知を見て、自分で驚いています。

来年はメダルと地震が来るかもしれませんね。今後も継続して勉強したいと思います。本当にありがとうございました。

講習会と先生方のおかげです。トンネルは超重要であるにもかかわらず、これまでの試験問題完全スルーで参考書はかすりもせず、JCI診断士本もおまけ扱い。実務では限られた技術者だけが知る世界。普通に参考書過去問まるおぼえでは何も書けなかったと思います。レジュメのまとめは、あまたある論文の中のバラバラの情報をたった一コマのイラストで表現してあって、凄く価値のあるものなのだと分かりました。寧ろ専門外者が中途半端に取り纏めても、偏った思いこみで決め付け論文になっていたと思います。塩害、疲労、化学、ASR、火害がいくら完璧でも、今回のトンネルはお手上げだったと思います。試験のヤマが当たるってこういうことなんだと。

日本コンクリート技術の人はすごいよねと身近の技術士の方と盛り上がっておりました。

別の技術士さんの集まりで、日本コンクリート技術の人は本当にインフラの基準をやり遂げたのは凄いことだなあという話題がありました。その成果を資格にきちんと反映して、レベルの高い試験で、素晴らしいなあと。

トンネルについては、当日までスルーしていて、試験会場に向かうバスの中で詰め込んでいたので、いまでも、危ない危ないと思っているぐらいです。

その後、やる気を継続して、建設部門（コンクリートではないですが）の技術士を目指してコツコツ勉強を始めています。

# コンクリート診断士試験 合格体験記

高橋 善彦 様 (新潟県) (株)ダイヤテック 平成27年度合格

動機は上司の指示ですが、早く一人前になりたい一心で受験しました。

診断士、無事に合格できました。

新潟県の場合、試験会場は大概東京になるため、一年目の費用が全部で10万円かかりました。今回不合格となって3回目の10万円を払いたくないのと、早く一人前になりたくて勉強法を探していた時、御社の講習会を知りました。受講すると、少人数のため出題傾向・説明が分かりやすかったです。

受験勉強ですが、まず講習会のテキストである「コンクリート診断士試験項目別全過去問題集」を購入しました。最初に4択問題をすべて解析したため、問題集を一巡するのに3ヶ月かかりました。6月からは4択問題の復習と毎日2題の記述問題の練習を行い、毎日2～3時間で合計350時間勉強しました。

試験当日ですが、4択問題はすぐに終わり、記述式のA問題は笹子トンネルの崩落事故について、原因の特定から改善までの道筋を書きました。B問題は土木の問題を解答しようとしたが糸口がつかめずパニックになりました。しかし、講習会で「案外建築の問題が解きやすいので、土木が駄目なら建築の問題に切り替えると良い。」と講師の方が言っていた事を思い出し、建築問題に取り組んで時間一杯で回答しました。(所要時間は4択：50分、記述A問題：1時間、記述B問題：1時間30分)

私の勉強法は、4択問題はじっくりやって苦手分野を見つけて復習を行うこと、記述問題は「キーワードを選定」「箇条書きで文の構成を作る」を重点的にやることでした。

診断士を目指す方は、どうしても日常業務に追われて自分の時間が削られ、どれ位やれば合格できるかの見当もつかず辛いかもしれませんが頑張ってください。

# コンクリート診断士試験 合格体験記

里深 慎太郎 様 (東京都) 地方公務員 平成26年度合格

私は橋梁等の公共インフラを管理している側の人間であり、現在の診断業務は委託がほとんどです。そのため診断結果を理解する能力がないと委託した業者の言いなりになる可能性があります。そこで、診断結果を適切に判断する能力が必要と感じたため受験を決意しました。

本講習会受講の動機ですが、技術系の記述式問題は今まで書いたことがなく、市販の参考書を読んでもどのようにして勉強すればよいのかよく分からなかったためです。講習会では、実際に記述式問題を書かせる練習があって時間間隔がつかめたこと、また書き方や記述式問題に出そうな最新のキーワードを学ぶことができ、受講した価値がありました。

受験勉強の方法は、四肢択一式問題については、過去問を何度も繰り返し、どうしても分からない問題については、この講習会の講師に聞いて学びました。また、記述式問題は、講習会で学んだキーワードをもとに、何通りかのレジメをあらかじめ準備し、それを試験日まで何度も推敲しました。

試験当日ですが、4択問題はすぐに終わり、記述式のA問題は笹子トンネルの崩落事故について、原因の特定から改善までの道筋を書きました。B問題は土木の問題を解答しようとしたが糸口がつかめずパニックになりました。しかし、講習会で「案外建築の問題が解きやすいので、土木が駄目なら建築の問題に切り替えると良い。」と講師の方が言っていた事を思い出し、建築問題に取り組んで時間一杯で回答しました。(所要時間は4択：50分、記述A問題：1時間、記述B問題：1時間30分)

最後に診断士取得を目指す方へのアドバイスですが、記述式問題の勉強の仕方はこの講習会で学ぶのが合格への一番の近道だと考えます。また、四肢択一式問題でどうしても分からない問題についてもこの講習会で解決することができるので、試験には自信を持って臨むことができると思います。

# コンクリート診断士試験 合格体験記

片岡 様 (千葉県) 生コンの製造販売 平成27年度合格

私は、生コン工場にて品質管理業務に携っています。社会資本の高耐久化や環境負荷低減等の重要性が叫ばれる中、私自身更なる知識の修得が必要と感じコンクリート診断士取得を目指しました。

診断士の勉強を進めていく中で記述力不足を感じていた時、会社の先輩から、本講習会を薦められ、「少しでも記述力が向上すればいい」との思いから、受講する事を決めました。講習会は、アットホームな雰囲気が進められ、講師の方々の実体験や他の受講者の意見なども聞く事ができ、私にとって大変プラスとなりました。また、記述問題対策についても、しっかりと時間が確保されていたため、非常に有難かったです。

記述問題の勉強方法としては、実際に書いてみる事が一番だと思います。そして書いたものを読み返し、解答例を参考にして、自分の書いたものに足りない部分を確認していくことが重要だと思います。ちなみに、秀和システムさんから発行されている問題集は、分かりやすい解答例が多くオススメです。上記の勉強方法で、試験当日は残り時間僅かではありましたがなんとか記述問題を書き切ることが出来ました。

最後に、これからコンクリート診断士取得を目指す皆さん、仕事との両立は大変かと思いますが、利用出来るものは最大限利用し、どうか最後まで諦めずに頑張ってください。応援しております。

# コンクリート診断士試験 合格体験記

高橋 奈麻美 様 (宮城県) 生コン工場勤務 平成30年度合格

レディーミクストコンクリートは主にスランプや空気量、コンクリート温度及び強度の保証しかありませんが、実際は硬化したコンクリートの変状についての問い合わせが多くあり、それに回答できる知識を身につけたいと思い受験を決意しました。

コンクリート診断士試験は、私にはとても難しく感じていて合格できたらラッキー程度に思っていたのですが、日本コンクリート技術(株)の講習会に参加させていただき、丁寧に教えてくださった先生や参加させてくれた会社のためにも合格したいと思いました。そのため本格的に勉強を始めたのは5月中旬からでしたがテキストの内容がとても充実しており、この一冊でぎりぎり合格することができました。

四択問題の試験対策は、テキストは3回繰り返すのが目標でした。テキストを1回通して解き、間違えた問題はノートにまとめてそのノートは毎日読む。テキスト2回目は間違えた問題だけをとき、それでも間違えた場合はノートに詳しく書く。テキスト3回目は時間が足りずに半分もできませんでした。間違えた問題はテキストに付箋を貼り、正解したら剥がしていたのですが最後まで付箋が多く貼ってある状態でした。

論文対策は、記述Aは国土交通白書から情報を収集し、見えそうな文章を抜き出してまとめていました。よく出題されるコンクリート診断士に必要な技術や心構えなどはテキストから抜き出し、箇条書きにして覚えやすくしました。記述Bは建築に絞り、それぞれの変状に対する一般的な原因や特徴などをまとめた文章を作り、暗記しました。次に問題にある表や条件を文章化する練習をしました。今回出題された論文の問題は過去にも出題されたことがある問題だったので、暗記していた文章を多く書くことができました。

# コンクリート診断士試験 合格体験記

崎原 竜磨 様 (沖縄県) 生コン工場勤務 (総合管理) 令和元年度合格

受験の動機は、近年、生コン工場勤務のコンクリート診断士保有者が増えてることもあり、コンクリート診断士に対する憧れや自己研鑽のためです。

私は、年が明けてから勉強を始めました。試験勉強方法は、無理のない勉強計画を試験日から逆算して立てて毎日空いた時間に試験勉強をしました。大事な事は毎日コツコツと勉強をする事だと思います。テキストは、秀和システムの参考書と講習会で頂いた資料をメインに対策をしました。

4択問題は、過去問を解きまくるのが合格への近道！だと思います。秀和システムの参考書には過去問全ての問題と解説が記載されてるのでこの一冊で十分な対策ができました。記述問題は、文章を何度も何度も手書きすることが一番大事な事だと思います。そうすることで文章力の向上にもなり、解答作成のテクニックも自然に身についてきます。講習会で頂いた資料をメインに記述の対策を行いました。

2019年度から記述問題の試験内容が変わるとの事で、文字数が増えるのか？ これまでの問題Aとして問われてきたような内容は全く出題されなくなるのか？ などと不安なまま試験に挑みましたが、例年通りの問題のままだったことで安心しました。

講習会では計算問題の説明も非常に分かりやすく、特に、記述の対策は講習会での勉強がかなり強みになりました。講習会で得た知識を忘れず、自己研鑽に励みたいと思います。

# コンクリート診断士試験 合格体験記

仙台の佐藤 様 (宮城県) 生コン工場勤務 (総合管理) 令和30年度合格

受験の動機は、主任技士合格の勢いでそのまま。診断士に対する憧れもありました。

アドバイスとして、毎日少しでも必ず勉強する事が大事だと思います。講習会の参加前にテキストを1周以上しておき、分からない箇所を把握しておくとう率が良いと思います。

四択問題は、テキストを使い、過去問を何度も繰り返し解きました。その中で、硬化コンクリートとはどういうものか徐々に理解を深めました。

記述問題の対策は、A問題は、お題を、重要だと思われる3つに絞り、テキストと講習会で配布された資料を基に論文を作成し暗記しました。B問題(建築)は、講習会配布資料等を参考に、B論文の作成パターンを作りました。そこに言葉(キーワード)をはめ込むようなイメージで過去問を何回も解きました。試験中、メインの変状が分からなかったものの、ストーリーを通して最後まで書ききりました。

講習会では、配布資料や講師の方々の説明がとても分かりやすく知識を深めることが出来ました。また、地方から講習会に参加した為、「わざわざ東京まで来て講習を受けたからには合格するしかない」と思い、勉強を継続する良いきっかけになりました。

# コンクリート診断士試験 合格体験記

A H様 (愛知県) 地場ゼネコン勤務 (工事部) 平成27年度合格

受験の動機は、構造物の維持管理が大切であることは何となく理解していたつもりでしたが、昨年Sトンネルの事故のニュースを見て深く考えるようになったことです。それと同時にコンクリート診断士の受験を決意しました。

年が明け参考書や過去問題を一通りこなしても手応えが無いなかで、何とかしなければと考えていたところ、日本コンクリート技術の講習会をHP通じて知りました。偶然にもネットで購入した過去問題集も同社が監修していましたので、GWに高速バスを利用して参加させてもらうこととしました。

講師陣は豊富な経験を持つ診断士、技術士といった顔ぶれで、内容は非常に濃いものでした。私はここぞとばかりに独学で理解に苦しんだ問題や、小論文の質問を投げかけましたが、的確な解答をズバっと頂き、満足度の高い東京日帰りツアー（もちろん勉強）を体験できました。

例年、試験後同社以外にもセメントメーカー等が解答を出していますが、その精度はあまり高いものとは言い難い。結果としては日本コンクリート技術の解答が1番精度の高い解答でした。このことから同社の診断士育成力は相当なレベルであると評価できます。

診断士に本当に合格したい方へ是非オススメしたい（近道である）講習会であると言えます。



# コンクリート診断士試験 合格体験記

田上 英明 様 (東京都) 中日本ハイウェイエンジニアリング東京(株)

平成27年度合格

受験の動機は、点検業務にて発注者から求められている資格であることと、この資格取得に取り組むことにより調査方法や補修方法について学ぶことができると思ったことです。

コンクリート主任技士に挑戦したときに、一回目の試験では不合格でした。その時の反省としては4択問題と記述式問題ともに対策が中途半端な状態で受験をしたことがありました。このことを踏まえ試験日までの日数から、4択問題の過去問を3回解くには一日何問解けばよいか計算し実行しました。また、記述式問題についても予定をきっちり立てて試験日までに対策がきっちり取れるようにスケジュールをたてました。また、スケジュールどおり実行するために、仕事が終わってからではなかなかやる気にならないので、入社前の約1時間と入社後の始業前約1時間を勉強時間として確保しました。その結果、コンクリート主任技士は二回目の挑戦で合格、コンクリート診断士も1回目の挑戦で合格できました。

上記のような日々の努力に加え、日本コンクリート技術(株)さんで実施しているコンクリート診断士受験対策を受講することが良いと思います。4択問題の対策については自分の理解に間違いがなかったかの確認と記述式問題の対策については記述するためのポイントを学ぶような受講の仕方が良いと思います。

4択問題の対策は、以下の方法を実行しました。①過去問を3回解く。3回目は1・2回目にとけなかった問題についてのみ解く。②1回目解く際に間違った問題は単語帳に要点をまとめ、通勤時間中または空き時間に暗記。また、記述問題の対策は以下の方法を実行しました、①コンクリート診断士の定義・役割を暗記する。②参考書の記述例をノートに書き、キーワードなど骨子をまとめる。③骨子をまとめたものを暗記。④過去問、予想問題を実際に書いてみて、添削を受ける。

過去問を試験同様に時間をはかって解き、4択問題と記述式問題A・Bに要する時間を把握し、タイムスケジュールを立てました。